

株主の皆様へ

第77期 中間報告書

平成23年6月1日から平成23年11月30日まで 証券コード：5967



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループはこのたび第77期第2四半期（平成23年6月1日から平成23年11月30日まで）決算を終了いたしましたので、ここに事業の概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による急激な経済活動の低下、消費者マインド悪化などによる個人消費の下振れなどがありましたが、供給網の早期復旧により、個人消費・設備投資にも回復の兆しが見られてきており、復興需要の顕在化などによって景気回復を維持すると思われま

す。しかしながら一方で、欧州における債務問題や世界的な経済の減速懸念が深刻化してきており、円高、株価低迷の長期化、デフレの進行など景気悪化の要因となるものも多く、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは、「ポルト縮結分野」においてお客様に満足いただける製品の開発・提供、技術サポート体制の強化並びに国内外市場の販路開拓に取り組むとともに、さらに市場深耕を図るため特殊品受注をより一層推進するなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

その結果、作業工具類の売上高は、回復に向かいつつある個人消費・設備投資の増加などを背景に、11億4千万円となりました。機器類の売上高は、東南アジア向け輸出にも支えられ6億9千6百万円となりました。従いまして当第2四半期連結累計期間における売上高合計は18億3千7百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加を主因に改善することがで



き、営業利益は1億6千5百万円（前年同期比40.2%増）、経常利益は1億7千8百万円（前年同期比31.2%増）となりました。

しかしながら、保有株式の価格下落による投資有価証券評価損1億2千9百万円の計上を余儀なくされ、四半期純利益は4千7百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

なお、中間配当金につきましては、将来の事業計画、業績、配当性向ならびに財務状況など総合的に勘案いたしまして、1株につき3円を実施させていただきました。

今後の見通しにつきましては、欧州債務問題の深刻化、世界経済の減速、円高の長期化など懸念すべき問題も多く、日本経済を取り巻く外部環境は悪化し、依然として不透明な状況を呈しております。

当社グループといたしましては、このような厳しい環境変化に耐え得る企業構造の確立を目指し、営業体制の改革、生産体制の強化、新製品開発の強化、財務体質の強化、及び人材育成に取り組んでまいりますとともに、更なる売上伸長、コスト削減に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年2月

取締役社長 佐藤憲史

通期 第2四半期累計

売上高



四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



第2四半期連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 (平成23年11月30日現在)	前期末 (平成23年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	2,552,074	2,562,086
固定資産	2,318,198	2,117,161
有形固定資産	1,226,458	1,007,811
無形固定資産	109,279	60,741
投資その他の資産	982,460	1,048,608
資産の部合計	4,870,273	4,679,247
負債の部		
流動負債	2,061,030	2,111,896
固定負債	1,139,260	938,698
負債の部合計	3,200,291	3,050,595
純資産の部		
株主資本	1,697,761	1,701,548
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	163,380
利益剰余金	1,332,410	1,335,687
自己株式	△403,029	△402,519
その他の包括利益累計額	△27,780	△72,896
その他有価証券評価差額金	△27,780	△72,896
純資産の部合計	1,669,981	1,628,652
負債及び純資産の部合計	4,870,273	4,679,247

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 [平成23年6月1日から 平成23年11月30日まで]	前第2四半期連結累計期間 [平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで]
売上高	1,837,053	1,607,127
売上原価	1,157,470	984,826
売上総利益	679,583	622,300
販売費及び一般管理費	513,822	504,066
営業利益	165,760	118,234
営業外収益	20,379	28,520
営業外費用	7,452	10,599
経常利益	178,687	136,155
特別損失	129,414	90,631
税金等調整前四半期純利益	49,273	45,523
法人税、住民税及び事業税	1,623	1,568
法人税等調整額	—	—
少数株主損益調整前四半期純利益	47,649	43,954
四半期純利益	47,649	43,954

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 [平成23年6月1日から 平成23年11月30日まで]	前第2四半期連結累計期間 [平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,020	103,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,700	△338,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	113,017	222,075
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51,661	△12,548
現金及び現金同等物の期首残高	261,646	230,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	209,984	217,824

会社の概要 (平成23年11月30日現在)

商号	前田金属工業株式会社 Maeda Metal Industries,Ltd.
創業	大正14年1月
創立	昭和13年8月6日
組織変更	昭和24年7月27日
資本金	605,000,000円
従業員数	134名(連結)

役員

取締役社長	佐藤 憲 史
常務取締役	松村 昌 造
取締役	矢野 大司郎
常勤監査役	池田 澄 朗
社外監査役	山上 和 則
社外監査役	滝川 雄 吉

ホームページのご紹介



当社ホームページでは、新製品・展示会などの情報を掲載しています。是非ご覧いただき、皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

<http://www.tonetool.co.jp/>

事業所

本社工場 〒 537-0001 大阪市東成区深江北三丁目14番3号
TEL (06) 6976-5561

富田林工場 〒 584-0023 富田林市若松町東三丁目3番6号
TEL (0721) 25-9605

開発センター 〒 536-0021 大阪市城東区諏訪四丁目7番16号
TEL (06) 6965-3881

国内営業部

札幌営業所 〒 007-0840 札幌市東区北40条東十九丁目2番12号
TEL (011) 782-4544

仙台営業所 〒 984-0037 仙台市若林区蒲町字原田南32番1号
TEL (022) 282-2161

新潟営業所 〒 955-0056 三条市嘉坪川一丁目2番29号
TEL (0256) 36-6875

東京営業所 〒 150-0013 東京都渋谷区恵比寿二丁目27番24号
TEL (03) 3446-3911

名古屋営業所 〒 464-0850 名古屋市中千種区今池二丁目2番36号
TEL (052) 741-0043

大阪営業所 〒 537-0001 大阪市東成区深江北三丁目14番3号
TEL (06) 6973-9737

広島営業所 〒 731-0111 広島市安佐南区東野一丁目18番21号
TEL (082) 832-3171

福岡営業所 〒 812-0893 福岡市博多区那珂三丁目27番17号
TEL (092) 411-7125

海外部 〒 537-0001 大阪市東成区深江北三丁目14番3号
TEL (06) 6976-5567

事業紹介

作業工具類

当社はプロ用作業工具のメーカー、信頼のブランド TONE として、様々な製品を開発、製造し、供給してまいりました。主力製品の一つであるソケットレンチは、当社が国内で初めて生産を開始したTONEの原点ともいえる製品ですが、多様化、高度化していく社会のニーズに応えるため、製品ラインナップの充実に努め、トルクレンチなど締付力管理工具やチタン、ステンレスなど新たな素材を採用した新工具の開発にも注力してまいりました。現在では、TONE製品は、国内はもとより広く海外でもご採用いただいております。当社はこれからも工具にたずさわって、工具を通して社会に貢献していきたいと願っております。



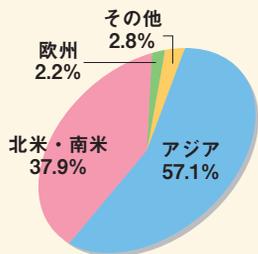
機器類

当社がこれまで培ってまいりました締結に関する技術は、世界トップシェアを誇ります。シャーレンチをはじめ、様々な締付力管理機器やボルト締結機器に活かされております。

より高精度に締付力を管理したい、より作業者の負担を軽減したい、より作業効率を向上させたい、そんなお客様の声を製品とサービスという形で具現化し、安全、安心、確実な締付け作業を提供してまいりました。当社はこれからも常にお客様に「満足」と「感動」、そして期待以上の「価値」を提供していきたいと願っております。



海外展開



ア ジ ア … 中国・韓国・台湾
タイ・シンガポール・インドネシア
北 米・南 米 … アメリカ・カナダ・チリ・ペルー
欧 州 … イギリス・フランス
そ の 他 … インド・中近東

TONEの製品は世界中のプロフェッショナルにご愛用いただいております。今後も「ボルト締結に関することは全てお任せください。」の精神に基づき、多様な顧客要望を採り入れた製品の提供に努め、TONEブランドが世界の高級工具・機器の代名詞となることを目指して、積極的な海外展開を図ってまいります。

トピックス

Exhibition

■「第32回 オートサービスショー2011」に出展

「安全と環境守る 整備機器」の統一テーマの下、「第32回 オートサービスショー2011」が2011年6月17日～6月19日の3日間、東京ビッグサイトで開催されました。

当社のブースでは、多数の開発中製品を参考出品いたしました。展示会で集められたお客様の声を、今後の製品開発に活かしてまいります。



■「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW2011」に出展

「毎日を楽しく、豊かに！あなたの暮らしにDIY。」をテーマとした日本最大のDIYショー「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2011」が、2011年8月25日～27日までの3日間幕張メッセで開催されました。

当社のブースでは、近日発売製品の初披露を通して、店舗への新製品導入、商品切替などを提案し大きな反響を得ました。



New Product

■ ラチェットドライバーセット「RDS32」

プロ現場から一般家庭までの幅広い用途を前提に、機能、形状、質感にこだわり、内容品を厳選した「ラチェット機能付ドライバーのセット」を販売。ビットラチェットセット「BRS20」に続く、ビット製品としてのシリーズ展開で、今後もラインナップ拡大を進めてまいります。



■ コーナー型シャーレンチ

性能、デザイン、安全性を向上した新型コーナー型シャーレンチをリリース。モータには、新型シャーレンチGM220Aシリーズで採用の高剛性アルミボディの二重絶縁構造モータを採用し、電気安全性を確保するとともに、強度を向上。

また、グッドデザイン賞受賞モデルGH240Aを踏襲したデザインを採用し、TONE製品群のデザイン統一も図った。



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会の議決権 5月31日 期末配当 5月31日 中間配当 11月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問合せ先 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8583大阪市中央区北浜二丁目4番6号 TEL 0120-255-100 (通話料無料) ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告方法	電子公告 http://www.tonetool.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第二部
証券コード	5967

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いたします。

TONE 前田金属工業株式会社

〒537-0001 大阪市東成区深江北三丁目14番3号

<http://www.tonetool.co.jp/>

この報告書に関するお問合せは下記までお願いします。

管理部 TEL.06-6973-9744